



報道関係者 各位

NPO法人 放送批評懇談会

発表！2026年1月度ギャラクシー賞月間賞

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで63年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2026年6月上旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。放送の専門誌・月刊「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

<お問い合わせ先> NPO法人 放送批評懇談会

MAIL : kondankai@houkon.jp HP : <https://www.houkon.jp/>





2026年1月度ギャラクシー賞月間賞

ドキュメンタリー「解放区」「家族を罪に問う～家庭内性被害の告白～」

1月11日放送 毎日放送

この問題がいかに酷く深刻なものなのか。深い傷を負った被害者を襲うトラウマ。家庭で起きた事件ゆえに親族が味方にならないという残酷さ。父親を告訴した女性の勇気ある行動は、同じような苦しみにある人たちに力を与えている。当事者に伴走するような取材者の姿勢を感じるドキュメンタリーだ。

有吉クイズ「メモドライブ独身男女編」

1月11日、18日放送 テレビ朝日

2025年に登場して回を重ねる名物企画「メモドライブ」が、キャスティングを変えて新展開を見せた。集団行動の中で口に出せない心の声を可視化するフォーマットは、普段うかがい知れない人間関係の答え合わせを見るようだ。ショートテキストが氾濫するSNS時代にもマッチ。メモに狙ってる感が見えたら冷めてしまいかねない、繊細な企画でもある。

ハートネットTV「対岸の父」

1月19日放送 日本放送協会

読書好きで他者への開かれたまなざしがあった父が、この15年ほどで、差別的・排他的言動をとっている。なぜなのか、その理由を知るために、娘は父を取材した。職業人生の中で満たされない思いをもち、ネットの不確かな情報に繰り返し晒されていた父。身近な人との分断を乗り越えるための対話を軸に、今日の問題を浮き彫りにした。

NHKスペシャル 臨界世界「戦慄の占領地 “ロシア化”の実態」

1月25日放送 日本放送協会

ウクライナ領土の約2割、およそ600万ものウクライナ人が暮らす占領地では、ロシア化の圧力が強烈だ。ロシアの正当化を洗脳する学校現場、愛犬の治療のためになくなくロシア国籍をとった老人、拷問の末ロシア兵として最前線に向かいながらも投降したウクライナ人の兵士は、まさに人間の尊厳を奪われていた。戦慄の現状を伝えた力作。

★詳細は月刊誌「GALAC」2026年4月号に掲載します